

個別検診のご案内

総合健診・人間ドックで受けていない方が対象です。

配布された受診票を持参の上、保健福祉課窓口へお越し下さい。手続き後に、指定の受診票をお渡します。

	対象者	受診可能期間	個人負担金	受診可能医療機関
国保特定健診	40～74歳 国民健康保険加入者	6月1日～10月31日	なし	県内の特定健診契約医療機関
後期高齢者健診	75歳以上 後期高齢者保険加入者	6月1日～10月31日		個別検診契約医療機関 (利根沼田管内:37件)
子宮がん検診	今年度21歳以上の 奇数年齢で、昨年度 未受診の女性	6月1日～9月30日		利根中央病院・沼田脳神経外科循環器 科病院・沼田クリニック・久保産婦人科 医院・こうだ医院・塩崎医院
乳がん検診	今年度41歳以上の 奇数年齢で、昨年度 未受診の女性	6月1日～9月30日		利根中央病院・沼田脳神経外科循環器 科病院・沼田クリニック・沼田病院
胃内視鏡検診	50歳以上 偶数年齢の方	6月1日～翌2月28日		2,000円

胃がんリスク(ABC)検診って?

血液検査で胃がん発症のリスク(危険度)を判定する検査です。

胃がんの有無を調べる検査ではありませんので、胃がんの診断はできません。
2種類の血液検査の組み合わせでリスク(危険度)を判定する検査です。

1 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃がピロリ菌に感染していないか調べる検査です。ピロリ菌感染は胃がんの発生リスクを高めますが、感染した人がすべて胃がんになるわけではありません。病気の発症には喫煙・塩分の過剰摂取などの生活習慣なども深く関係しています。

2 ペプシノゲン検査

ピロリ菌に感染した胃には胃炎が生じ、胃粘膜の萎縮が進んでいきます。その程度を調べる検査です。

片品村国保の人間ドックのご案内

片品村国保では、国民健康保健事業の一環として、特定健診を含む人間ドック費用の助成を行っています。希望される方は、必ず保健福祉課窓口で申請をしてから受診して下さい。

助成対象 国民健康保険税の滞納がない満40歳以上の方。

本年度の総合健診・個別健診での特定健診を受けていない方。

助成金 検診費の3分の2の額で、26,000円を上限とする。

募集人数 150名

申請に必要な持ち物 保険証・印鑑

助成申込期限 平成31年1月31日まで



地域包括支援センターからのご案内

地域包括支援センターは、高齢者とその家族のための総合相談窓口です。

介護のこと

- ・身の回りのことに不安が出てきた
- ・介護サービスを利用したい など…

健康のこと

- ・今の健康を維持したい
- ・物忘れが多くなった など…

権利を守ること

- ・悪質な訪問販売の被害にあった
- ・虐待にあっている人がいる
- ・金銭管理や契約に不安がある など…

さまざまな相談ごと

- ・近所の高齢者が心配
- ・高齢者を支える活動がしたい など…

こんな事業もやっています…

一般介護予防事業【はっらっ体操教室】

高齢者を対象に、毎月健康管理センターで体操教室を開催します。
また、住民主体で体操教室を行いたい団体のお手伝いをいたします。



介護予防・生活支援サービス事業(委託事業)【いきいきくらぶ】

対象者	要支援1・2、事業対象者と判定された方	内容	身体と頭の体操、口の健康教育、栄養指導など
実施期間	平成30年10月～平成31年3月	会場	健康管理センター(送迎あり)
実施回数	月3回		

認知症初期集中支援事業(委託事業)

認知症(疑い)の方やその家族を訪問し、困りごとの相談に応じます。

対象 40歳以上で、認知症の症状などでお困りの方(認知症の対応で困っている、病院に行きたがらないなど)

高齢者等安心見守りネット事前登録

もしもの時のために備えて、写真や身体特徴、静脈認証を登録し、行方不明になった時にすぐに対応できるように準備しておくものです。

お問い合わせ：片品村地域包括支援センター 電話0278-58-4020

※不在になる時もありますので、事前に連絡してからお越しください。

健診のご案内

片品村
役場保健
福祉課

混雑のかたよりを解消するため、地域ごとに日程を設けました。ご協力をお願い致します。

総合健診

日程	会場	対象地区	受付時間	検診車台数	
				胃がん	子宮がん・乳がん
6月5日(火)	東小川体育館	5区・8区	午前：7時～11時 午後：1時～2時 ●胃がん検診は、午前のみ ●子宮がん、乳がん検診は、 午後のみ	2台	各1台
6月6日(水)		1区・7区		1台 ^{注)}	各1台
6月7日(木)		4区・6区		2台	各1台
7月11日(水)	花咲トレーニングセンター	2区・3区		1台	各1台

注)胃がん検診車1台で検査出来る人数の目安は、60人。乳がん・子宮がん検診車1台で検査できる人数の目安は、70人程度です。

未受診者健診

特定健診、後期高齢者健診、若年者健診、胃がんリスク(ABC)検診、結核・肺がん検診、前立腺がん検診、大腸がん検診

日程	会場	対象地区	受付時間
8月10日(水)	片品村健康管理センター	全地区	午前：10時～11時半

どうして特定健診を受けるの？

生活習慣病(心臓病や脳卒中、糖尿病、ガンなど)の発症に大きく影響しているメタボリックシンドロームに着目した健診を実施します。

健診結果により、生活習慣病予防の発症リスク(危険性)などから階層化した3つのグループ(「情報提供」、「動機付け支援」、「積極的支援」)に分かれ、自分の健康にあった保険指導を受けることができます。メタボリックシンドロームから脱するための運動や食事を中心とした生活習慣病のための支援です。

健診対象となる人

40歳から74歳までの国民健康保険や社会保険などの医療保険に加入されている方(被扶養者を含む)。「妊産婦」、「病院や診療所に6ヶ月以上継続して入院している方」、「福祉施設に入所している方」、「海外在住の方」は特定健診の対象となりません。

集団健診または、個別健診のどちらかを選択して受診してください(健診受診は年度内1回限りです)。

	対象者	内容	注意事項
結核・肺がん検診	今年度40歳以上の方	胸のレントゲン撮影と高リスク者には喀痰検査を行います。肺結核、肺がん、気管支拡張、心肥大等が見つかります。	受診票裏面の注意事項をよくご覧下さい。
特定健診	今年度40歳～満74歳の方	問診、身体計測、血圧測定、尿・血液検査、腹囲測定等を行います。メタボリックシンドロームに着目した健診です。	午前中受診の方は、朝食をとらないで受診してください。
後期高齢者健診	満75歳以上	後期高齢者の健康増進に役立たせることを目的とした健診です。	午前中受診の方は、朝食をとらないで受診してください。
若年者健診	国保加入者で35～39歳の方	問診、身体計測、血圧測定、尿・血液検査を行います。	新たに始める健診です。
肝炎ウイルス検診	今年度40歳の方、40歳以上で今までに受けていない方	採血をしてB型肝炎とC型肝炎の検査をします。	
前立腺がん検診	今年度50歳以上の男性	採血をして、前立腺から分泌されているPSA(前立腺特異抗原)という物質の量を測定して、前立腺がんを発見します。	
大腸がん検診	今年度40歳以上の方	便中の血液の有無を調べる検査です。主として大腸がん、大腸ポリープを発見します。2日分の便を指定の容器に採取して、健診会場に受診票と一緒に持参して下さい。	受診希望の方は、各地区の保健推進員さんから採便セットをもらってください。
胃がん検診	今年度40歳以上の方	バリウムと発泡剤を飲み、胃のレントゲン撮影をし状態を見る検査です。胃がん、胃潰瘍、胃ポリープ等が見つかります。	前夜の夕食後は水以外の飲食物をいっさい口にしないで下さい。
子宮がん検診	今年度21歳以上の奇数年齢で、昨年度未受診の女性	内診、細胞診、腹部の触診等婦人科の専門医が子宮の状態を見ます。	2年に一度受診できます。受診票裏面をよくご覧になって、受診して下さい。
乳がん検診	今年度41歳以上の奇数年齢で、昨年度未受診の女性	専門医による視触診を行い、検診車の中でマンモグラフィ(乳房エックス線撮影)を行います。	2年に一度受診できます。着脱が容易な服装で来て下さい。
胃がんリスク(ABC)検診	今年度35～39歳の方	採血した血液で胃がんの発症リスク(危険度)を判定します。	新たに始める検診です。詳しくは裏面をご参照下さい。
骨粗鬆症検診 筋肉・脂肪量測定	希望者	群大整形外科の先生方が、骨密度検査や筋肉・脂肪量測定等を行います。また、整形外科に関する健康相談も実施します。	

お知らせ

- 血清クレアチニン検査について…平成30年度から、糖尿病等の重症化予防等を推進する観点から、医師が必要と認める詳細な検査項目となりました。
- 若年者健診について…国民健康保険加入の35歳～39歳の希望者は受診することができます。
- 胃がんリスク(ABC)検診について…35～39歳の間で一度だけ受診できます。胃がん検診は、40歳から受けられるようになりました。
- 社保家族の方の特定健診受診について…保険証発行元から交付される受診券と保険証を持参してください。個人負担金500円程度で受診できます。

お願い

- 特定健診、後期高齢者健診を受診される方は、食事の影響を受けやすい「中性脂肪」及び「血糖値」の検査データを正しく判定するため、できるだけ健診前10時間以上は、水以外の全ての飲食物はとらないで下さい。午後受診する場合は、できるだけ健診前3時間半以上は水以外の全ての飲食物をとらないで下さい。
- 受診票の注意事項をよく読んで、問診・質問事項をあらかじめ記入してお持ち下さい。
- 会場付近は道路が狭く、駐車場も限られています。車を利用される方は乗り合わせにご協力下さい。